



広島新聞

青空と緑と産業の町

昭和

1月号

ことしもよい年になったらいいね

そうですね



目次

新年のご挨拶	P2~5
各種お知らせ	P6~9
(確定申告、常永区画整理地内換地処分、秋の褒章 ほか)	
まちのわだい	P10~11
各種たより(環境通信、教育昭和 ほか)	P12~19
年初の地区行事／暮らしの情報 ほか	P20~23

平成 29 年 1 月 1 日発行

No.471

町の鳥：ひばり 町の花：れんげ 町の木：乙女椿

まちの動き 12月1日現在(前月比)

人 口	19,649 人 [728] (+56 [+21])	※内、[] は外国人数
男	9,897 人 [288] (+17 [+5])	※平成 24 年 7 月 9 日
女	9,752 人 [440] (+39 [+16])	から人口・世帯数は
世帯数	8,360 戸 [381] (+36 [+20])	外国人住民を含んだ数



平成29年 ^{ひのとり} 丁酉

謹賀新年



年頭のご挨拶 あいさつ

昭和町長 すみの 角野 みきお 幹男

町 民の皆様におかれましては、平成29年の輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、町制施行45周年という節目の年に当たり、改めて本町の発展の歴史とそれを築いてきた先人の努力に感謝を申し上げるとともに、本町の「新たな成長」の始まりのための施策に注力した年でした。そのような中、町民の皆様のご協力により、都市計画マスタープランと緑の基本計画という町のさらなる成長の指針となる計画策定に向けて、貴重なご意見をまとめることができました。また、開発許可に関する事務の移譲を県から受けました。

私は、平成19年の町長就任以来、「小さくても豊かなまちづくり」を政治理念とし、「人づくり」をキーワードにして、町政運営を図って参りました。財政の厳しい折ではありましたが、土地区画整理事業などの基盤整備のほか、教育や福祉に関するソフト事業を充実させてきました。昨年発表された平成27年の国勢調査結果では、本町の人口は1万9505人（前回調査から1852人の増加、人口増加率は全国第9位・10.5%）となり、まさに伸びゆく本町を象徴していると確信させるものでした。人口減少が著しい社会情勢において、このような人口増加を成し遂げられたことは、町民の皆様が、それぞれの立場から町政へお力添えくださった結果だと思えます。心から感謝を申し上げます。

平 成29年は、昨年まいた「新たな成長」の種を10年先20年先、昭和町の大きな魅力として花咲くよう育てていかなければなりません。これまでの事業を継続

させながら、次世代を担う子どもたちのため、平成27年に中学3年生まで拡大した子どもの医療費の無料化に続き、子育て世代からご要望をいただいていた放課後児童クラブの対象年齢を小学6年生まで拡大します。平成27年2月にいただいた「子育てしやすいまちランキング」全国11位という評価を、町民の皆様方にお一層実感いただけるよう今後も努めて参ります。そして、地方創生の先にある「未来につなぐまち」を創るため、単独町の利点を活かし、町民の皆様と行政とが同じ方向を目指して、議会をはじめ区長会、区の役員の皆様や各種委員、各種団体などにご理解とご協力をいただくと、本町の豊かさを揺るぎないものにしたと思います。本町は、県下一面積の小さいまちではありますが、町民の皆様一人ひとりの力を結集し、小さくても豊かで、全国に誇る大きな魅力あるまち、選ばれるまちの実現を図って参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

こ としは「酉年」^{とりどし}。酉年は「とりこむ」と言われ、また、「酉」の漢字は「熟す」という意味があるそうです。私は、酉年が意味することく、町民の皆様の未来へ向かう力を「結集し「取り込み」、そして「成長する」「熟す」年となるよう努力して参りますので何とぞ、ご理解ご協力をお願いいたします。平成29年が町民の皆様にとって健やかに、そして心豊かな年となるようお願い、年頭の挨拶いたします。



昭和町議会
議長 三井 猛

昨 年を振り返ると、世界同時株安や日本銀行のマイナス金利の導入という経済への不安を感じずにはいられない幕開けでありました。

海外では、イギリスがEU脱退を表明し、その行く末は想像がつきません。国内では、第3次安倍改造内閣が「未来へ挑戦する内閣」として発足しましたが、アメリカの大統領選挙などにより複雑化する外交事情やTPP協定、いまだ復興途上である東日本大震災、さらに熊本地震などの大規模災害、保育園等の待機児童問題など、国が抱える問題は山積しております。また、消費税増税は見送られましたが、国政への不安は解消されず、依然景気回復の実感は乏しいままです。何とか日本経済の強化に努め、国民のための政策に今後も期待したいものです。

明るい出来事では、リオオリンピックで、日本勢のメダル獲得数が過去最多の41個という快挙を成し遂げました。パラ

新年明けましておめでとうございます
町民の皆様におかれましては
夢と希望に満ちた新春を
ご健勝にてお迎えのこととお慶び申し上げます

リンピックと合わせ合計65個のメダルを獲得し、日本の底力を目の当たりにしました。また、選挙権が18歳に引き下げられて初めての参議院選挙を迎え、国政に新たな風が吹き込まれました。町においても、町制施行45周年という記念すべき節目の年であり、まちづくりへの思いを新たにした年でありました。

当 議会において改革の一環として始めた「井戸端会議」、また全国でも珍しい「区長会との意見交換会」は貴重な意見交換の場となっており、議会活動に欠かせないものとなりました。多様なご意見をいただき、それを真摯に受け止め、町政に反映させていきながら、町民のための議会活動に積極的に取り組んで参りたいと思います。そして、8年目を迎えた山梨学院大学との提携では、町の抱える課題について、大学教授から対応策を学んでおります。大学生とのワークショップでは、新鮮かつ鋭い提案が出され、議員も刺激を受けておりま

す。その提案を無駄にすることなく議会として生かし、今後も議会活性化に向け、議員一同、邁進していききたいと思います。

昨年8月には、議会災害対策本部設置要綱に基づき、5回目となる議会防災訓練を行いました。議員全員が人命救助の応急手当等についての基礎知識、担架の作り方や搬送法、骨折時の手当てなどの基本を学びました。万が一に備え訓練を重ねることで、議員一人ひとりが自助・共助・公助の意識を高め、町民の「安全・安心な町づくり」に貢献したいと思っております。

今 年の干支は酉で、商売に繋がるとされています。行動力があり、積極的であるという意味もあります。経済全体が干支の意味そのままに希望ある年となるよう、町民とともに一致団結して「未来への魅力あふれる昭和町」の構築に寄与して参りたいと思います。また、改めて先輩議員が築かれた良き慣習



昭和町教育委員会
委員長 佐野 勝彦

私 は、教育委員長と教育長とを一本化した新教育委員会制度のもと、平成28年4月から新教育長を拝命しました。昨年は第6次総合計画のスタートの年でしたが、第5次から引き続き、様々な事業に取り組んで参ります。

まず、コミュニティ・スクールとしては、平成27年度に全小中学校を指定して学校運営協議会を設置し、地域の方々から学校に対する率直な意見をいただいたり、地域の先輩方を講師として招いた授業を行ったり、ボランティアとして学校行事に参加したり、学校をギャラリーとして地元出身で活躍されている方々の作品を展示したりと、地域とともにある学校を目指した取り組みを行って参りました。今後もこの取り組みを、さらに発展させていきたいと考えております。

英語教育については、昨年度、町内の全小中学校が文部科学省の指定を受け、小中高が連携した英語教育に取り組み、県内の他の小中学校の先生方にも授業

新年明けましておめでとうございます
町民の皆様方には
平成二十九年の新春をすこやかに迎えのこととお慶び申し上げます

を公開しました。今回の指定を受け、A・L・Tを全小中学校に配置し、楽しみながら生きた英語に触れる機会を増やし、早い段階から英語に対する抵抗感をなくす取り組みなどを行って参ります。

また、平成30年度に小学校、平成31年度に中学校で正式な授業となる「特別の教科道徳」への取り組みも行っており、平成29年度には全小中学校の教育課程に取り入れるための研修会等も実施し、準備を行っているところであります。

子どもたちの学力の底上げとして行った「学力向上フォローアップ事業」は、一昨年は県の事業、昨年は町の単独事業として、夏期休暇を利用して実施いたしました。事業は、おおむね好評で来年度以降も継続して実施していきたいと考えております。

子どもたちの食の安全についても取り組んでおり、アレルギー対応は除去食の提供も行っております。アレルギーについては大変気を使う作業であり、昨年

度はアレルギー対応メニューの改訂を行い、学校給食センターだけでなく、学校の養護教諭が関わり、実際に配食する担当教員も決めておくなど、きめ細かな対応を行っております。また、学校給食センターでもアレルギー専門職員を採用し、調理過程から使用材料を別にし、万全の態勢で取り組んでおります。なお、学校給食センターは、現在の施設では今後の児童数の増加に対応できないことから、施設を増築し、対応食数を増やすための準備も行っております。

また、児童数の増加については、数年前には中学校の教室数が不足することが予想されるため、教室確保も進めていかなければならないと考えています。

社会教育においては、健康で豊かな生活を営むことができるような文化芸術や生涯スポーツの推進について、今後さらに進む少子化、超高齢社会を見据えた一層の充実と環境整備が求められます。大きな課題である老朽化の進む中央公

などを引き継ぎ、今後も議会の果たすべき役割を十分認識し、各議員が活発に活動できるよう努め、公正で円滑な議会運営を進めていく所存であります。

本年も町民の皆様にとりまして実りある躍進の年となりますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます

昭和町議会議員

河田あけみ 河住保茂 石原一好
遠藤辰男 鷹野一雄 葉袋義久
田中博愛 林 和仁 金丸富一
塚原将司 石原高明 依田茂巳
樋口敏夫 中澤康夫 堀 門太

民館や、狭く蔵書の保管に苦勞する町立図書館に替わる生涯学習拠点施設の整備について、引き続き情報収集や調査・研究を進めていきたいと思ひます。

生涯学習においては、中央公民館、町立図書館、温水プールや総合体育館等の社会教育施設が連携し、町民のニーズに応える事業の質的向上に努め、地域との結びつきを深めていきたいと思ひます。また、風土伝承館杉浦醫院や文化財の保存や歴史を継承していくこと、現在作成を進めている「ふるさとかるた」を利用し、児童から高齢者までが郷土を愛する心を育むことができるよう努めて参ります。

生涯スポーツでは、昨年から進めている「スポーツ推進計画」を策定し、日常に密着した生涯スポーツの推進やスポーツ・レクリエーション施設の整備に努め、更なる活動の充実を図ります。また、子どもクラブ、スポーツ少年団などの自主的な活動の内容充実や主体的な取り組みを支援し、それらの中で指導者の育成も図っていききたいと考えています。

教 育委員会では、今年も先進的な取り組みを行い、児童生徒の輝かしい未来のために昭和町教育を推進して参りますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

確定申告の準備はお早めに！

確定申告の時期が近づいてきました。所得税の確定申告書は甲府税務署へ、住民税の申告書は町へ提出していただきます。申告の準備は、お早目にお願います。1月号では、甲府税務署で行う申告相談等についてお知らせします。なお、町で行う地区別の申告相談日程等詳細は、2月号でお知らせします。

甲府税務署の申告書作成会場

甲府税務署では、申告書作成会場を次のとおり開設します。

期間

2月16日(木)～3月15日(水)

※土曜、日曜を除く

※ただし2月19日(日)と2月26日(日)は開場します

相談時間

午前9時～午後5時

場所

甲府税務署

(甲府市丸の内一丁目1番18号)

甲府合同庁舎5階



申告書の発送は、1月下旬の予定です。ただし、前年確定申告書等作成コーナー等を利用された方には、「確定申告お知らせがき」を発送予定です。

1月下旬から申告書を発送

所得税の還付申告

給与所得者(源泉徴収税額のある方)で、次に該当する場合、確定申告により所得税が還付されることがあります。

- ①マイホームを借入金で取得した方
- ②多額の医療費を支払った方
- ③途中退職し年末調整を受けていない方

申告書は、国税庁ホームページで作成できます

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で、ご自宅のパソコン等から申告書を作成することができます。

画面の案内に従って、金額等を入力すれば税額などが自動計算され、所得税及び復興特別所得税や消費税及び地方消費税の申告書などを作成できる便利なシステムです。作成したデータは、「e-Tax(国税電子申告・納税システム)」を利用して送信することができます。ほか、印刷して書面で提出できます。

詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

国税庁ホームページ

<http://www.nta.go.jp>



問い合わせ 甲府税務署(☎254・6105)・昭和町役場税務課(☎275・8265)



申告書にはマイナンバーが必要です！

平成28年分から所得税及び復興特別所得税・消費税及び地方消費税・贈与税の申告書には、「マイナンバーの記載」と「本人確認書類の提示または写しの添付」が必要になります。申告の際、次の書類をお持ちください。

必要書類

- マイナンバーカードをお持ちの方 マイナンバーカードだけで、本人確認(番号確認と身元確認)が可能です。e-Taxで送信すれば、本人確認書類の提示または写しの提出が不要です。
- マイナンバーカードを持っていない無の方

番号確認書類

《本人のマイナンバーを確認できる書類》
通知カード、住民票の写し又は住民票記載事項証明書(マイナンバーの記載があるもの)などのうちいずれか1つ

身元確認書類

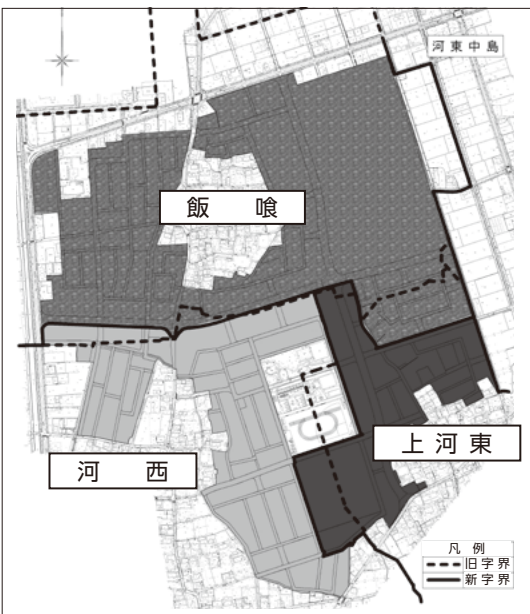
《記載したマイナンバーの持ち主であることを確認できる書類》
運転免許証、公的医療保険の被保険者証、パスポート、身体障害者手帳、在留カードなどのうちいずれか1つ

+

常永土地区画整理地の番地が新しくなります

平成20年から進めてきた常永土地区画整理事業では、1月19日(木)に「換地処分」の公告が山梨県にて行われます。

換地処分により、区画整理事業地内の地番は全て新しい地番に切り替わるほか、一部の土地では大字の字界(地区の境界)変更を伴う場合もあります。新しい番地は、公告の翌日である1月20日(金)から有効となります。



また、換地処分に伴う住民基本台帳修正のため、1月20日(金)から22日(日)まで、住民票等の自動交付機が終日停止します。

平日の1月20日(金)は、町民窓口課の窓口では住民票等を発行できませんが、手続きに時間をいただくこととなります。住民票や印鑑証明書が必要な方はお早めの取得をお願いします。

換地処分対象

飯喰、河西、上河東の大字に属する常永土地区画整理地内の土地

※「常永土地区画整理地内〇街区〇画地」の表示となっている土地

換地で割り振る新地番

「飯喰」1500番地1～1641番地

「河西」1600番地1～1700番地

「上河東」1300番地1～1352番地

自動交付機停止期間

1月20日(金)～22日(日)

問い合わせ 「換地処分について」

都市整備課 区画整理係 (☎275・8413)

「自動交付機停止について」 町民窓口課 町民係 (☎275・8264)

都市計画マスタープラン・緑の基本計画 まちづくり住民プランを提言

町では、総合的なまちづくりと緑に関する指針となる「都市計画マスタープラン」と「緑の基本計画」の策定を進めています。

両計画の策定にあたり、住民の皆様の見解を広く取り入れるため、各地区、商工会、工業会、町内大型商業施設から選出されたメンバーによる「住民ワークショップ」を組織し、5回にわたって協議してきました。その結果、11月2日(水)の第5回ワークショップで、提言書「まちづくり住民プラン」がまとめられ、町へ提出されました。



今後、町では策定委員会を設置し、提言を参考に両計画の策定について協議していきます。なお、「まちづくり住民プラン」の内容は町ホームページ(<http://www.town.showa.yamanashi.jp>)でご覧になれます。

問い合わせ 都市整備課 都市整備係 (☎275・8413)

秋の褒章

11月3日（木・祝）、国の「秋の褒章」が発令され、本町の井上武氏いのうえ たけしが藍綬褒章を受章されました。褒章は国の栄典の一つで、各分野における優れた行いのある方を表彰するものです。藍綬褒章は、公共の利益に尽くし、他の模範となる業績を収められてきた方に贈られます。

藍綬褒章

井上 武氏（76歳・上河東）



井上氏は、平成9年から現在まで、19年間にわたって保護司として活躍され、犯罪や非行を犯してしまった人の立ち直りの支援や見守り、犯罪防止などの社会貢献活動に尽力されてきました。このたび、永年にわたるこれらの功績が評価され、受章となりました。

今年7月の任期満了で、保護司として満20年を迎える井上氏。受章の思いを伺うと、「何より一緒にやってきた仲間や関係者、家族の支えのお蔭」と振り返ります。また、これからも少年少女たちの社会復帰に貢献したいとの思いとともに、社会全体として更生保護活動への関心が高まって欲しいとの願いを語ってくれました。

税の作文表彰

町および県では、租税教育推進のため、中学生から「税についての作文」を募集し、優秀者の表彰を行っています。

10月5日（水）、押原中学校の五味碧海さん（3年）が、特に優れた作文であったとして、山梨県知事表彰を受賞しました。また、11月17日（木）、町からの表彰が行われ、町長賞一作品、教育長賞二作品に対し、賞状が贈られました。



県知事表彰
町長賞
教育長賞

五味碧海さん（中央左）
大塚由彩さん（左端）
高田美優さん（中央右）
末木彩菜さん（右端）

差し押さえ動産

合同公売！

山梨県総合県税事務所、昭和町および県内自治体では、税の滞納のため差し押さえた動産を合同で公売します。今回の合同公売会は、初めての昭和町での開催です。

日時 2月4日（土）

「受付」午後0時30分～1時20分

「入札」午後1時30分まで

「開札」午後1時30分から

場所 昭和町総合体育館

公売方法 入札

参加資格 どなたでも参加できます

※差し押さえられた本人や家族、差し押さえ業務従事者など、関係者は参加できません

持ち物 運転免許証等の身分証明書本人確認のため、落札品の購入代金（現金）

問い合わせ

山梨県総合県税事務所 滞納整理部
企画・総務担当（☎261・9120）
収納課 収納係（☎275・8918）

新しい委員の皆さん

西条一区	小沢いづみ 田中 憲治 名執登貴子	河東中島	鷹野 映子 笹本 禮子	上河東	杉原 政子 ◎杉原 喜彦
石川 剛	河西 政江	紙漉阿原	○富士池千鶴	上河東二区	◎杉原 喜彦
川野久美子	込山 正一 丸山 幸三 山田恵美子	清水新居	泉 美佐子 海和 節子	小林 節子 篠原 増美	
乗原 則子	佐藤 裕子	飯 喰	磯部 幸廣 横内 昭子 横内 和美	主任児童委員	志村とし江 （河東中島） 福田 昭人 （築地新居）
○中山 恵子	林 八重子	磯部 俊登 名執 明美			
西条新田	大日方義久 塩田 さち 山本 保彦				

敬称略・地区別50音順
◎会長・○副会長

民生委員・児童委員等が改選されました

12月1日、町の民生委員・児童委員と主任児童委員が改選されました。任期は、平成28年12月1日から平成31年11月30日までの3年間です。



民生委員・児童委員は、担当地区の生活困窮者、高齢者、母子家庭、障がい者などの援護を要する人や世帯の生活改善等を図るため、相談や見守りなどの支援活動を行い、各家庭の福祉の増進に努めています。また、主任児童委員は、民生委員・児童委員のうち、特に児童問題を専門的に担当する方で、児童福祉関係機関との連絡・調整と児童委員への支援・協力に携わっています。

現在町内の民生委員・児童委員は39名で、主任児童委員は2名です。委員には守秘義務があり、相談内容や秘密が漏れる事はありませんのでお気軽にご相談ください。

問い合わせ 福祉課（☎275・8784）

相談日

- ▶町長と語らいのとき
場所：役場庁舎1階 町長室
＊事前にご連絡ください
（総務課 ☎275-8153）
- ▶消費生活無料相談（※）
日時：1月13日（金）
午前10時～正午
場所：役場別棟2階 小会議室
（企画財政課 ☎275-8154）
- ▶行政相談（※）
日時：1月18日（水）
午後1時～4時
場所：中央公民館2階 会議室
（企画財政課 ☎275-8154）
- ▶教育相談（※）
日時：祝日を除く火・水・木の午前9時～午後4時
場所：中央公民館2階 相談室
（町青少年育成カウンセラー ☎275-6951）
- ▶心配ごと相談
日時：1月11（水）
午後1時30分～3時30分
場所：社会福祉協議会で案内
＊あらかじめご連絡ください
（昭和町社会福祉協議会 ☎275-0640）
- ▶結婚相談（※）
日時：1月28日（土）
午後1時30分～4時
場所：総合会館2階 相談所
（昭和町結婚相談所 ☎275-1881）
- ▶障がい者相談員出張相談（※）
日時：1月13（金）・27日（金）
午前9時～正午
場所：総合会館1階
（福祉課 ☎275-8784）

※印の相談は事前連絡不要です
直接会場にお越しください

お知らせ

- ▶ボカシつくり会
日時：1月19日（木）
午後1時～
場所：総合会館裏
（環境経済課 ☎275-8355）

ご意見

- ▶町へのご意見箱（ひとりの声）
ご意見など、町政についてお気付きのことをお寄せください
○ホームページ
http://www.town.showa.yamanashi.jp/chosei/koe.php
○郵送
〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町役場 総務課 宛



総務課 政策秘書係



道徳授業公開 & 教育講演会

10・11月、町内の各小中学校で、道徳授業を一般公開する「道徳授業公開」と「教育講演会」が行われました。

押原小学校では、地域に開かれたコミュニティ・スクール推進事業として「コミュニティ・コンサート」を開催。楽器紹介なども交えた甲府昭和高校吹奏楽部の皆さんの演奏を、保護者を初め、地域の皆さんも参加して楽しみました。



常永小学校 学習講座
「やまなしワクワク子育て親育ちプログラム」



押原小学校
「コミュニティ・コンサート」

静かなブーム「朗読」

11月18日（金）、町立図書館で朗読サークルふくらすずめの会による朗読会が開かれました。

誰しも学校で教科書を声に出して読んだ「音読」の経験があるかと思いますが、「朗読」は、音読とは全く異なる本の楽しみ方です。朗読は、書き手が文章にこめた思いを読み解き、声色や間合いで朗読者の感じた物語の感動を表現し、書き手・語り手・聞き手が一緒になって、物語を楽しむ創作活動です。

第3回を迎えた朗読会では、夏目漱石の「こころ」などの大作を朗読。静寂の中、声で描かれる物語に多くの方が耳を澄ませ、まさに心で楽しんだ朗読会でした。



こどもたちへ伝える思い

11月21日（月）、押原小学校で平和学習会が開かれ、押越の小林^{こばやし}好江^{よしえ}さんが、6年生に自身の戦争体験を語りました。

20歳を迎える年に終戦を迎えた小林さんは、「生かさせてもらっている恩返し」の思いで、自身の戦争体験を語ってきましたが、既に91歳。一言一言に、思いをこめながら、戦争で体験した筆舌に尽くしがたい自身の半生を語りました。

また、戦争のため1年しか教師を務められなかった小林さんでしたが、70年ぶりに教え子たちが開いた同級会で、80歳を超えたおばあちゃんたちが少女に戻ったように語り合っていた様子を話し、「親に言えない悩みも友達なら相談できる。同じ時代を生きていく同級生は、親兄弟以上にかけがえのない仲間。いつまでも友達との絆を大切にしたい」と、これからの時代を歩むこどもたちへの願いを語りました。



まちのわだい

町内の「地域情報」を紹介するコーナーです。
あなたの身近な話題、お待ちしております♪
(企画財政課 広報担当 ☎ 275-8154、kikaku@town.yamanashi-showa.lg.jp)



ロボコン全国出場！ 駅伝関東大会出場！



11月13日（日）、「ロボコンやまなし2016」に出場した押原中学校の自然科学部が、全3部門中、「基礎部門」で優勝・2位・3位を総なめ、「活用部門」も優勝・2位という快挙を果たしました。また、同じく11月に行われた「山梨県新人戦大会」で、同校のソフトボール部と男子バレーボール部が県優勝、陸上部が県大会3位の好成績を収めました。

12月4日（日）、自然科学部と陸上部は、それぞれ関東大会にあたる「創造アイディアロボットコンテスト関東甲信越地区大会」と「第25回関東中学校駅伝大会」に県代表として出場しました。結果、自然科学部の基礎部門参加チーム「TYフォース」が準優勝を収め、全国大会への出場を勝ち取りました。また陸上部は、入賞は逃しましたが、選手全員が自己ベストを記録する走りで、関東の強豪相手に奮戦しました。

ファミサポ交流会

11月26日（土）、総合会館で「ファミリーサポートしょうわ交流会」が開かれました。日頃こどもを預ける側、預かる側として関わっている皆さんから、子育てに対する温かい思いが発表されたほか、援助会員による手作りの遊びコーナーや花育指導のせいか先生との木の実制作コーナー、劇団ぶーらんのショーなど、多くの親子が楽しく和気あいあいとふれあいました。



54年ぶりの初雪

11月24日（木）、初雪が降りました。甲府盆地での11月の初雪は、昭和37年（1962年）11月27日の観測以来54年ぶり。

平成26年2月の大雪の記憶の新しさもあつてか、前日の23日（勤労感謝の日）には、多くの方がスタッドレスタイヤへの交換のためガソリンスタンドなどに詰めかけ、早い冬の到来に備えていました。

